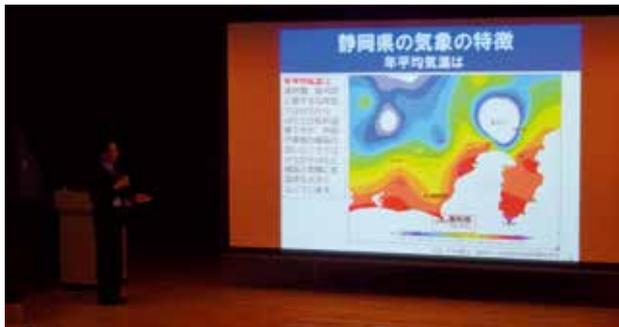


気象変化への対策学ぶ

市農業振興会主催の講演会が2月3日、佐倉公民館で開催され、同会の会員を中心に市民54人が参加しました。講演では、静岡地方気象台調査官の森野克彦さんが「気象と農業について」と題し、自然災害や異常気象への対策について話しました。



地域医療の充実に向けて

市家庭医療センターの建設工事安全祈願祭が2月7日に執り行われ、関係者ら約40人が出席しました。同センターは白羽小学校のプール跡地に建てられ、平成29年11月に開院予定。柳澤市長は「地域医療を充実させ市民の安心につなげたい」と話しました。



交流して活動の幅広げる

第2回NPO交流会 in 御前崎が2月9日、市役所で開催され、市内のNPO法人や市民団体約20人が参加しました。同会で開催したワークショップでは、困り事やうまくいった経験を共有し、現状の課題を解決する方法など、盛んに意見を交換しました。



昔遊びを伝えて交流図る

池新田・高松地区老人クラブと小学生の交流会が2月15日、第一小学校で開催されました。1年生約100人とクラブ会員約60人が、竹とんぼやコマ回しなど昔からある遊びを通じて、世代を超えて交流を深めました。



国際交流で可能性を広げて

市国際交流事業へ1500万円を寄付したことによる紺綬褒章の褒状が2月22日、柳澤市長から(株)望月塗工(代表取締役望月勲氏)に伝達されました。望月さんは「国際化が進む中、子どもたちが語学力を身に付けられるよう、力になりたい」と話しました。



より良い教育を目指して

市内の園・学校勤務の教職員が応募した教育研究論文の奨励賞授与式が2月28日、市文化会館で執り行われ、関係者ら約70人が出席しました。

【最優秀賞】「主体的に思考を働かせる算数の授業づくり」第一小教諭 伊藤陽香さん、八木球美さん、鈴木千咲さん

